

# しき

2011.

2



1月9日(日)に市役所で行われた出初式

## ●おもな記事●

平成22年第4回定例会が、11月25日(木)から12月16日(木)までの22日間の日程で開催され、市長から提出された条例、補正予算、その他27議案を審議し、3ページのとおりとなりました。

年頭のごあいさつ	2
議案等一覧及び審議結果	3
一般質問・項目一覧	4～9
総務・市民福祉・文教都市常任委員会 行政視察報告	10～11
アンケート協力のお願ひ	12



志木市議会議長  
池田 則子

## 年頭のごあいさつ



新年にあたり、議会を代表いたしましたして、ごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より、議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年、国民に大きな感動与えた出来事といたしまして、小惑星探査機「はやぶさ」が、絶望的な困難を乗り越えて地球に帰還したことは、記憶に新しいところですが、そして持ち帰った岩石質微粒子の解明が進められることに、更なる期待が高まっているところですが、

さらに、志木市では市制施行40周年を迎えましたが、様々な記念事業に多くの皆様にご参加をいただきましたこと、市民の皆様にご心より御礼を申し上げます。

一方、日本も含む世界的な情報流出事件の発生や、国内では、夏から秋へと猛暑の日が続きましたが、本年は、明るい話題で希望がもてる平穏な年になることを願っております。

本年も志木市議会では、市民の負託と期待に応えるよう広い視野に立つて議会活動を行い、志木市の発展のため努力してまいります。

どうぞ、市民の皆様には、今後とも議会に対し一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

平成 22 年第 4 回志木市議会定例会議案等一覧及び審議結果

平成 22 年 11 月 25 日・12 月 16 日

議案等番号	件名	審議の結果	採決の状況
第 70 号議案	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
第 71 号議案	志木市監査委員の選任について	原案同意	全会一致
第 72 号議案	平成 22 年度志木市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決	賛成多数
第 73 号議案	平成 22 年度志木市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	全会一致
第 74 号議案	平成 22 年度志木市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	賛成多数
第 75 号議案	平成 22 年度志木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	全会一致
第 76 号議案	志木市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 77 号議案	志木市特別職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第 78 号議案	志木市民会館条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 79 号議案	志木市ふれあいプラザ条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 80 号議案	志木市総合福祉センター条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 81 号議案	志木市老人福祉センター条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 82 号議案	志木市子育て支援センター条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 83 号議案	志木市西原ふれあいセンター条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 84 号議案	志木市立八ヶ岳自然の家条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 85 号議案	志木市民体育館条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 86 号議案	志木市武道館条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 87 号議案	志木市立秋ヶ瀬運動場施設条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 88 号議案	志木市村山快哉堂条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 89 号議案	志木市立公民館条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 90 号議案	志木市立いろは遊学館条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 91 号議案	志木市立図書館条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 92 号議案	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決	全会一致
第 93 号議案	指定管理者の指定について	原案可決	賛成多数
第 94 号議案	指定管理者の指定について	原案可決	賛成多数
第 95 号議案	指定管理者の指定について	原案可決	賛成多数
第 96 号議案	志木市道路線の認定について	原案可決	全会一致

## 一般質問

今定例会は、12人の議員が市政全般の事務・諸問題に対し質問をしました。

質問者は通告順 質問は主なものを掲載しています



吉川 義郎

公明党

子ども・若者育成支援  
推進法について

◎吉川議員 平成20年現在、15歳から34歳までの人口約3,000万人のうち約64万人が「若年無業者」(ニート)の状態であり、同じ年齢層の失業者は115万人、アルバイト等をしている人が111万人いることを考えたとき、これから担うべき世代に今大変な事態が起こっていると言わざるを得ない。

そこで、本年4月1日から、広く子どもや若者を育成するための法律、子ども・若者育成支援推進法が施行された。

この法律の理念をどう評価し、本市の子ども・若者支援体制に反映させるのか。また、この法律には地方自治体の具体的取組みが提示されているが、今後の本市の方針について聞く。

さらに、学齢期を終えた若者で、ニートやひきこもりの実態等について聞く。

◎教育長 子ども・若者育成支援推進法は、子ども・若者を取巻く環境の悪化、さらにはニート、ひきこも

り、不登校、発達障害など、子ども・若者の抱える問題が深刻化し、従来の縦割りの対応では限界との背景から本年4月に施行された。

本市では、青少年育成市民会議を中心に、青少年の健全育成のために、ネットワークづくりの一つとして、毎年7月の青少年の非行・被害防止全国強調月間、また11月の子ども・若者育成支援強調月間にキャンペーンを実施し、市民に理解と協力を得られるよう取り組んでいる。

なお、本法に基づく計画の策定や具体的な取組みについては、国や県の動向を踏まえ慎重に対応していく。

◎市長 ニートやひきこもりについては、社会的問題の一つとして重く受けとめているが、その実態を的確に把握することは、個人情報保護の課題などがあり極めて難しいと認識している。

## その他の質問項目

- 不登校、ひきこもり児童対策について
- 交通安全対策について



伊地知伸久

しきの会

商業と観光を融合させた  
振興策について

◎伊地知議員 近年、商店会や商工会が中心となって、志木のかっぱ館を由来とするかっぱをテーマとした商業振興や観光資源の創出が図られている。

本町3丁目のかっぱふれあい館は商業と観光を融合させた施設であり、県の緊急雇用創出基金で運営されている。基本的には1年単位と聞かすが、来年度も継続して運営すべきと考えるが見解を聞く。

また、観光振興のために、観光協会の活性化が必要であると考える。

現在、事務局は市の地域振興課が担当しているが、同課は町内会、商工会、観光協会、農業委員会に加え今年には市制40周年事業も担当しており、観光行政について考える時間があるのか心配する。

そこで、商業と観光を融合させ相乗効果を図るために、観光協会事務局を商工会事務局に移管させてはどうか聞く。

◎市民生活部長 かっぱふれあい館は、空き店舗を活用して実施してお

本町通りにある  
かっぱふれあい館

## その他の質問項目

- 少人数学級について
- 保護者の1日保育士・幼稚園教諭体験について



河野 芳徳  
しきの会

災害時におけるペットの  
対策について

◎河野議員 阪神・淡路大震災では、避難所でペットが受入れてもらえず、ペットとの同行避難などのガイドラインの未整備やペットに対する社会的な理解について問題点が露呈した。

東京都では、地域防災計画震災編の中で動物愛護の項目を設け、ペットとの同行避難を前提にし、避難所において、獣医師会や区市町村と協力して動物の飼育や保護をする方針を定めた。

ただ、自治体の対応に任せておけばよいということではなく、飼い主も責任を持って災害後もペットと暮らすための対策を考えておく必要がある。

災害時においては人間同様ペットも被災するが、避難所に避難者が連れてきた動物の取扱いなどを定めるペットのマニュアルを策定しているのか聞く。

◎市民生活部長 災害時におけるペットの対策については、志木市地域防災計画において、愛玩動物の保護対策として、動物の保護や適正な飼育に関し、関係機関や埼玉県獣医師会等、関係団体と協力体制の確立に努めるとしてお

り、室外においてペットスペースを設けることは可能と考えるが、全部の避難所に設けることは難しいと認識している。

また、マニュアルについては地域防災計画に基づいて適切に行っていく。

しかし、災害時には人が優先されるためペットの食料は2、3日分の備蓄を飼い主をお願いしたい。

ペットとの同行避難は平成23年8月の市民総合防災訓練の対象項目として配慮をしていく。



私たちも守ってね

その他の質問項目

- ペットボトルキャップの回収について
- 市民病院の今後のあり方について



磯野 晶子  
公明党

インクカートリッジの  
リサイクル推進について

◎磯野議員 使用済みインクカートリッジの回収率は10パーセント以下で、大半がゴミとして廃棄され、処理の負担も大きい。

インクカートリッジ里帰りプロジェクトとは、主要メーカー6社の共同活動として、使用済みインクカートリッジを回収・再資源化することで地域社会と地球環境に貢献するとしている。

また、このプロジェクトに参加した場合、職員が回収箱を設置し、箱が満杯になったら梱包し、出入りの郵便局にとりにきてもらうというもので費用は一切かからない。

このプロジェクトで再生資源の割合が高まれば、地球温暖化対策の一助になる。

本市も、このプロジェクトに参加し、ゴミ減量化、再資源化を推進する考えはないか聞く。

◎市民生活部長 使用済みインクカートリッジの回収については、販売店も各メーカーの回収ボックスを設置して取組んでいる。本市では販売店に設置

されている回収ボックスに出すよう、市民への啓発活動に取組んでいる。里帰りプロジェクトについては、既に郵便局でも回収ボックスを設置していることから、市としてはこれらの情報を市民に周知することにより資源循環型社会の形成に努めていく。



志木郵便局に設置してある  
インクカートリッジ回収箱

その他の質問項目

- 脳脊髄液減少症について



香川 武文  
しきの会

入札制度の見直しについて

◎香川議員 入札制度について、国土交通省が地域の雇用確保や経済の持続的発展という観点から適正価格の設定を求める通達を全国自治体に送付した。

しかし本市では、最低制限価格も設定されていないことから、経済的側面から見れば不健全な動機で応札をしているのではないかとおぼしき事例が発生したことは記憶に新しい。

公共調達は、発注側の責任も重く、効率化が求められる中で、品質の確保、健全な企業活動、地域経済の発展を図るため、入札制度改革について常に考察をしながら見直しを図っていくことが必要である。

この件について、平成22年6月議会の中で総務部長に質問した際には、最低制限価格制度の検討、また市内産業の育成など他の自治体の事例も参考にし、関係各課と協議していく旨の答弁であったが、その後の入札制度の検討・進捗状況について聞く。

◎総務部長 入札制度については、関係各課の担当者から成る検討会議も含め、現在、検討を進めている。

現状における見直しの骨子は、低入札価格調査制度の入札において土木工事・建築工事における応札額の落札者としていない判断基準として、建築工事については予定価格の55パーセント、土木工事については予定価格の50パーセントを下回るものという基準を設け、それぞれ予定価格の7割程度まで引き上げる方向で検討をしている。

あわせて地域経済の活性化と市内業者の健全な育成を推進していくため、予定価格が原則1,000万円を超える一般競争について、ある程度の額まで入札参加者を市内業者に限定したいと考えている。

改正後の結果については、決定次第「広報しき」やホームページで公表していく。

その他の質問項目

●「2期目のマニフェスト」の進捗状況と展望について



山崎 東吉  
民主党

親子の関係について

◎山崎議員 親の教育をどうするのかについては、平成15年3月議会でも質問をした。青少年を取り巻く環境は7年前に比べて悪化し、青少年自身も家庭も学校も地域社会も崩壊の度を強めている。

今回の質問は前回と違って児童・生徒の家庭教育の問題だけにとどめず、教員も含めた点にある。子どもたちを鍛え直す役割を担うべき教員の側も親子関係の破綻が生じている家庭があるはずである。そこに、学校が家庭教育にいま一歩踏み込めない理由があるのではないか。

教育委員会は、児童・生徒及び教員の家庭教育に積極的に関与して、家庭教育の再構築に向けた活動を展開するしかなく、親の再教育は必須である。その際、教育委員会は、個々の家庭における教育にも踏み込んでいくという指針を明確に示すべきと考えるが見解を聞く。

◎教育長 子どもたちが夢や希望を高くむために、家庭、地域、学校、そ

して教育委員会がそれぞれの役割を担いつつ連携を図っていくことが重要であると考える。

しかし近年、児童虐待の増加、家庭内暴力や不登校、親が親として育っていない、さらには地域コミュニティの希薄化など、家庭力や地域力が低下し、深刻な社会問題となっている。

教育委員会の取組みとして、家庭教育の資質向上を目的としてPTAが実施する家庭教育学級の中で、親が親として育つための親の学習事業を実施している。特に親の学習については、社会教育委員や子育て世代を中心とした市民の方が養成講座を終了し、実際に地域で活動をしていただき、着実にそのすそ野を広げつつある。

家庭・地域が担うべきことを着実に実行することにより、学校教育の持つ本来の教育力が発揮できるものと考えている。





内山 純夫  
民主党

市民病院について

◎内山議員 市民病院は市から8億円という繰出金に基づいて運営されているが、この現状をどのように把握しているのか。

また、医療サービスは多いほど利用する側は良いと思うが、それは地方公営企業法に基づいて、自立した中で運営がされるべきとの大前提がある。市民病院は市からの繰出金を受けてでも必要とされるのか。

さらに、平成19年12月に、公立病院改革の必要性、公立病院改革プランの策定、実施状況の点検、評価、公表、財政支援措置等を軸に改革ガイドラインをまとめるということが、国からの指導として出ているが、これをどのように把握しているのか聞く。

◎医療政策部長 市民病院の経営状況については、本年4月以降の整形外科の休診等により、患者数が減少したことに伴い、第3回定例会において、市からの繰入金5億4,000万円を補助金として充当する補正予算について認められた。

市民病院は、公立病院改革ガイドラインを踏まえて策定した市民病院再生計画改訂版に位置づけた事項の具現化に取り組む。

特に医師の確保については、経営改善に直結する課題であると認識しており、職員が一丸となって病院の経営改善に努めていく。



志木市立市民病院

その他の質問項目

- 人口増加の計画について
- 職員給与の仕組みについて
- 25人程度学級について



高浦 康彦  
日本共産党

平成23年度予算編成方針について

◎高浦議員 平成23年度予算編成方針における福祉、教育、医療、保健、産業、雇用、まちづくり等の市民生活関連予算についての基本的な考えと特徴について聞く。

また、第4次志木市総合振興計画が来年度から後期の5か年に入るが総合振興計画の裏づけとして、財政計画が伴う。今後の市民生活の安心・安全のための施策として、公共施設の耐震、大規模改修などの計画が予定されている。その財政計画がどのように設定されるのか、短中長期の財政計画はあるのか。それとも、後期総合振興計画の中で作成されるのか聞く。

◎市長 平成23年度の予算編成については、政策課題に伴う歳出が増加傾向にあり、歳入は、昨今の景気停滞に伴い、税収の伸びが期待できない。このような財政状況であるが、施策の選択と集中を図り、市民サービスの向上と財政の健全性の両面のバランスをとる、健康・医療・福祉都市構想の実現を実感できる予算を編成していく。

現在の財政フレームは、総合振興計画の実施計画を策定する上で、平成22年度当初予算を基準とした3年間の財政見直しについて、一般財源ベースで推計したものである。

現在、平成23年度の予算編成を進めているが、次の実施計画も3年間の財政フレームを作成していく。

また、公共施設安心・安全化計画について、概算工費が約85億円、さらに橋梁改修で約7億9,000万円となり、すべての施設において大規模改修などを実施することは、厳しいと認識している。

その他の質問項目

- 国民健康保険制度について
- 学校教育について
- 志木大橋、富士見橋の改修工事について
- 地域経済振興策について



水谷 利美  
日本共産党

三ツ木保育園等の問題について

●水谷議員 11月号の広報に、三ツ木保育園は平成23年度は受入れをしませんとという掲載があった。この入園者募集を中止した理由について聞く。

また、保護者への説明会は、これまで何回行われて、保護者の希望はどうだったのか。10月の説明会では上宗岡に建設している民間の保育園に移ってくださいと、優先的に入れるようにしますとの説明はあったのか。三ツ木保育園に残りたいという方の対応についてはどう考えるのか。

さらに、三ツ木保育園及びばんばん保育園の改修計画が出ているが、どのような状況にあるのか聞く。

●健康福祉部長 三ツ木保育園は、建設後30年が経過し老朽化が進んでおり、園児を保育しながらの改修は難しい状況にある。そのため、入園募集の停止などの対応のため、本年2月10日に保育園の老朽化並びに新規募集の停止及び公共施設安心・安全化計画が策定されること、10月15日には、この計画の中間報告の説明及び新設予定の

(仮称)清風会志木保育園への優先転園などを説明し、保護者の反応については、おおむね理解をいただいた。

三ツ木保育園に残りたいという方は三ツ木保育園で保育をしていく。今後画の策定状況を踏まえ対応していく。



三ツ木保育園

その他の質問項目

- 254バイパス問題について
- 下水道特別会計について
- 市民病院について



鈴木 潔  
しきの会

平成23年度予算について

●鈴木議員 来年度予算編成にあたり、それぞれの事業での特長、特色を各部長に聞く。

また、歳入予算の基本は市税であると考えるが来年度の税収見込みについて聞く。さらに、歳出については、これまでは財源不足を財政調整基金などにより補って各事業を推進している現状があるが、主要基金の取崩し額を圧縮し、収支均衡型の予算に変える考えはないか聞く。

●企画部長 電子市役所推進計画を推進し、市民のまちづくりの参画を求めするため、市民との情報の共有化を図るなどの予算要求をしている。

●総務部長 確実な市税の積算を行い、適正な賦課や効率的な徴収に努めるべく予算を要求している。

●市民生活部長 緊急経済対策や雇用対策について、引き続き実施する。来年度は市民総合防災訓練を実施するための予算を要求している。

●健康福祉部長 保育所の待機児童ゼロを目指して、自宅で乳幼児の保育を実施する保育ママ事業などを予算要求している。

●都市整備部長 志木第四小学校校舎耐震補強等工事及び志木大橋耐震補強等改修工事などの予算要求をしている。

●教育政策部長 いじめゼロを目指し、道徳教育を中心とした小・中学校連携による研修会の実施等、支援体制を図るための予算を要求している。

●医療政策部長 病院事業会計への一般会計からの補助金は約3億4,000万円が必要となる。市民病院のあり方の検討の中での改善策を反映し、補助金の圧縮に努力する。

●水道部長 石綿セメント管の布設替えをはじめ、水道施設の耐震化を重点的に予算編成をしている。

●総務部長 市民税は雇用環境が厳しい状況にあり、法人市民税は経済の先行きは不透明であることから、伸びは期待できる状況にはない。

歳出予算は継続的な事業、新規事業などの予算要求が上げられており、今後、各事業の精査を行い、財源不足の状況であれば、財政調整基金の活用により弾力的な財政運営を行い、必要な施策について予算措置をしていく。



天田いづみ  
リベラル市民21

まちづくりについて

◎天田議員 ヘルシーロード構想という健康・医療・福祉を基盤としたまちづくりを進めていくことは大変重要なことで、一部の地域だけではなく、市内全域で取組むべきと考える。

今後の道路整備や公園等においても、高齢者、障がい者等が利用しやすい整備を行うべきだと考えるが、その考えについて聞く。

障がい者や高齢者の方、一般の方、ボランティアの方、だれもが使いやすいまちづくりを進めていく計画段階でみんなの力を入れて事業に反映させる必要があると考える。

例えば道路をハンディキャップのある人が困らないようにしていく、地域の中でリハビリテーションやコミュニケーション、また、買物ができたりすることも重要である。

本市の健康・医療・福祉のまちづくりのハード面について聞く。

◎市長 ヘルシーロード構想は、健康・医療・福祉都市構想を実現する上で有意義であると認識している。

本市も、志木市版ヘルシーロードとして、福祉センターから総合福祉センターへの福祉ゾーン、商業施設などがあるショッピングエリア、市民病院や総合健診センターなどの医療ゾーン、さらに、街なかふれあいサロンあざみなどが快適に歩行し必要な情報が得られるヘルシーロードについて、現在整備構想を有している。

市内全域におけるヘルシーロード構想については、しき安心・安全歩行プラン事業などを推進することや公園の安心・安全化計画を策定し事業を進めていく。

その他の質問項目

- 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりについて
- 社会教育について



小山 幹雄  
しきの会

残業について

◎小山議員 残業については、過去4回一般質問をした。毎週水曜日はノー残業デーということで周知を図ったが徹底できなかった。最終的に平成20年6月の定例会で企画部長が、ノー残業デーをやめて1週間のうち1日、リフレッシュデーを設けるという答弁があり、残業に関しては質問をしなかった。

リフレッシュデー設けることにより、残業を減らすことの成果について聞く。

また、グループ制を取入れ、残業を減らすと言ったのだが、平成18年度の残業代は5,800万円余り、平成21年度は6,800万円余りと1,000万円増えているが、平成21年度と平成22年度の上半期のデータについて聞く。

◎企画部長 水曜日のノー残業デーについては、各所属の業務の特殊性や業務量の多寡によって円滑に実施できない状況があったことから、平成20年6月より所属ごとに1週間の中で1日を残業しないリフレッシュデーとして制度を改め、公務能率を確保するとともに、職員の健康管理を推進する制度として見直した。

今後もグループ制を生かし、特定の職員に仕事が集中することがないよう事務の配分に努め、時間外に勤務をしない体制づくりを進めていく。

平成21年度4月から9月までの残業は全体で1万2,500時間、平成22年度については1万2,800時間で、ほぼ横ばいとなっている。



その他の質問項目

- 交通安全対策について

文教都市常任委員会行政視察



広島県呉市での視察

◆平成22年10月5日(火)～7日(木)

●佐賀県鳥栖市

上下水道一元化について

●広島県呉市

小中一貫校について

【視察の主な内容報告】

▼上下水道一元化について

平成19年度から市民サービスの向上等により、水道事業、下水道事業、農業集落排水事業の3事業の窓口の一元化をした。

上下水道の組織統合によるメリットとして、下水道使用料の徴収事務を水道課に委任し、市民サービスの向上につながることで、組織のスリム化が可能となり、業務面・経費面で効率的な事業運営が図れること、水道課のシステムや職員の能力・ノウハウを活用出来ること、一体的施設整備や危機管理の強化など、上下水道が連携した施策が可能となることなどがあげられる。

上下水道事業の組織統合、窓口の一元化により、別会計であるが、経理部門を統合したことにより、市民サービスの向上と職員の削減やその他の効果がある。

▼小中一貫校について

平成12年度から小中一貫教育の研究を進め、平成19年4月より、全ての学校で小中一貫教育に取組んでいる。ねらいは、義務教育9年間を修了するのにふさわしい学力と社会性を育成する、子どもの連続した学びと自尊感情の向上で、教育特例校等の指定ではなく現行の学習指導要領に即して行っている。

推進方針としては、新しい時代の義務教育の創造を目指し、小学校と中学校の教職員が9年間を見通し、児童生徒の発達状況に即した指導内容、方法を工夫。前期・中期・後期と4:3:2に区分し、特に一番不安定な時期である小5から中1までの「中期」に重点を置いた取組みを行っている。

様々な取組みを進めてきた結果、呉市の小中一貫教育は、デメリットよりメリットの方が多く、私立中学校へ通う子どもが少なくなってきたとの説明に、小中一貫教育が定着してきていると感じた。

市民福祉常任委員会行政視察



民間保育園「ななお乳児園」での視察

◆平成22年10月27日(水)～29日(金)

●富山県富山市

NPO法人デイサービス

「このゆびとーまれ」について

●石川県七尾市

夜間養護事業（トワイライトステイ）・保育力向上支援事業について

「このゆびとーまれ」について

【視察の主な内容報告】

▼NPO法人デイサービス

「このゆびとーまれ」について

「このゆびとーまれ」は、元看護師により、平成5年に富山県内では初めての民間デイサービスとして設立された。赤ちゃんからお年寄りまで、障がいがあってもなくても、一緒にケアする活動方式と、行政の柔軟な補助金の出し方を併せて「富山型」と呼ばれ、

全国に広まりつつある。

障がいがあっても有償ボランティアとして、はつらつと風呂の掃除等、働いている若者の姿も印象的だった。

赤ちゃんからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、利用者がボランティアも職員も一体で、1つの大家族のように生活している「このゆびとーまれ」と、こうした富山型の取組みを徹底して支えている富山県、富山市政の心意気に深い感銘を受けた。

▼夜間養護事業（トワイライトステイ）・保育力向上支援事業について

民間総合病院の施設内保育園が廃止されたのを機に、民間保育園に夜間保育を依頼した。その後、民間保育園が独自で取組んでいる実態を受けて、各保育園にニーズ調査をし、児童福祉の観点から夜間養護事業として、あらためて民間保育園に事業委託をして実施。その後、利用者の利便性を考え、市外の児童養護施設にも事業委託を行った。

また、この事業を委託している民間保育園「ななお乳児園」を視察。案内していただいた市の職員と施設の職員との深い信頼関係に感銘を受けた。地域の保育ニーズをきめ細やかに汲取り、民間との連携協力のもと、児童福祉の観点から共により良いサービスを作り上げた関係者の努力に官民一体の熱い子育て、親育てを感じた。

総務常任委員会行政視察



宮崎市立田野病院での視察

◆平成22年11月4日(木)～6日(土)

◎宮崎県宮崎市

- ・ 独立行政法人国立病院機構宮崎東病院 開放型登録医制度等について
- ・ 宮崎市立田野病院 田野病院における病院改革について
- ・ 宮崎県危機管理局 宮崎県における災害時の危機管理について

【視察の主な内容報告】

▼開放型登録医制度等について

宮崎東病院も本市と同様に医師不足に悩まされている。医師の確保については、宮崎大学医学部に頼らざるを得ない状況であるが、病院の採算性向上を図るために、出張講座等により地域との繋がりを深めるとともに、小児医療に主眼を置き、小児内分沁・代謝・アレルギーセンターを設け、小児の発達障害の専門的治療に取り組んでいるところである。独立行政法人化に伴い、医師を初めとする医療従事

者の意識変革を図り、自分達の病院であるという共通認識を有するようになったとのことであった。

▼宮崎市立田野病院における病院改革について

近隣に競合する病院がないことから、ベッドコントロールがし易く、また、介護福祉施設を併設していることもあり、平成20年度まで過去10年間黒字化が続いていた。医師の確保対策に関しては、宮崎大学医学部から常勤医師を派遣してもらうことによりネットワークを築きあげてきたが、院長の基本的な姿勢として、医師を確保するという観点ではなく、医師を招聘するという心構えで臨んでいるとのことであった。

▼宮崎県における災害時の危機管理について

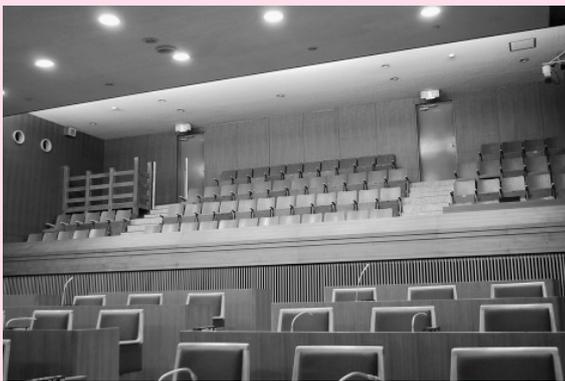
毎年のように台風の影響を受けやすい宮崎県では、阪神大震災の教訓を生かすためにも、防災の日を設けてPRをするなど、台風と大震災とが同時発生したことを想定した様々な取組みをおこなっている。また、口蹄疫への対応では、10年前の数百頭単位の被害状況とは大きく異なり、30万頭もの被害が生じたため、殺処分も含めて対応は後手に回ったと反省している。

今後は今回の教訓を無にすることなく、人員等の支援体制を含めた迅速な対応を図り、被害の拡大防止に努めたいとのことであった。

(議長交際費平成22年7月～12月)

支出日	件名	支出額
7月28日	志木市町内会連合会役員懇親会	7,000円
7月28日	須崎徳次元市議会副議長葬儀香典	10,000円
7月28日	須崎徳次元市議会副議長葬儀生花	15,000円
7月31日	福住町会夏祭り納涼の夕べ	3,000円
7月31日	宗岡三区町内会納涼盆踊り大会	3,000円
8月5日	朝霞自衛隊駐屯地納涼大会	5,000円
8月7日	柏町内会納涼盆踊り大会	3,000円
8月21日	ニューハイツ町内会夏祭り納涼盆踊り大会	3,000円
8月21日	宗岡六区町内会納涼盆踊り大会	3,000円
8月21日	中野町内会納涼盆踊り大会	3,000円
8月28日	柳瀬川町内会納涼大会	3,000円
9月24日	志彩会記念祝賀会	5,000円
9月25日	隊友会自衛隊父兄会合同懇親会	5,000円
10月20日	志木市商工会女性部創立30周年記念式典	5,000円
10月26日	志木市農業委員会歓送迎会	5,000円
11月21日	志木市菊花展優秀作品出品者表彰式	1,000円
12月17日	志木市町内会連合会役員忘年懇親会	7,000円

市議会の傍聴にお越しく下さい



市議会は、一般に公開され、どなたでも傍聴することができます。傍聴は、市議会活動に触れることができる身近な方法ですので、ぜひ、傍聴にお出かけください。傍聴席は、一般席(70席)、車いす席があります。傍聴する場合は、受付で住所・氏名を記入していただきます。

# 市議会による「(仮称)市内循環バス」に関するアンケートにご協力ください。

志木市議会では、市民の移動手段の確保について検討、協議を行っておりますことから、現在市内公共施設を巡回している「ふれあい号」とは別に、通勤、通学、買い物、通院時などに利用する移動手段と今後のあり方に対して、皆様のご意見、ご要望をいただきたいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。

本紙に挿入されたアンケート用紙に、回答をご記入の上、2月28日(月)までに、各公共施設に設置してあるアンケート回収箱に投函していただくか、ファックス(471)7091(志木市議会事務局)にて、ご返信ください。



## アンケート回収箱設置場所 (計 18 カ所)

- 志木市役所 (1F ロビー 4F 議会事務局)
- 志木駅前出張所 本町 5-26-1 (フォーシーズンズ志木ビル 1F)
- 柳瀬川駅前出張所 館 2-6-10
- フォーシーズンズ志木ふれあいプラザ 本町 5-26-1 (フォーシーズンズ志木ビル 8F)
- 市民会館「バルシティ」 本町 1-11-50
- いろは遊学館 本町 1-10-1
- いろは遊学図書館 本町 1-10-1
- 柳瀬川図書館 館 2-6-14
- 市民体育館 館 2-2-5
- 健康増進センター 幸町 3-4-70
- 総合福祉センター 上宗岡 1-5-1
- 宗岡第二公民館 上宗岡 1-5-1
- 秋ヶ瀬スポーツセンター 上宗岡 4-25-46
- 市民病院 上宗岡 5-14-50
- 郷土資料館 中宗岡 3-1-2
- 宗岡公民館 中宗岡 4-16-11
- 福祉センター 中宗岡 1-3-25
- 第二福祉センター 柏町 3-5-1

※いろは遊学館、いろは遊学図書館、郷土資料館、柳瀬川図書館は、月曜日が休館のため2月27日(日)までに投函してください。

### 問合せ

志木市議会事務局  
(473) 1111 内線 2802 2803

## 平成23年第1回(3月)定例会のお知らせ

※日程は予定であり、変更になることがあります

月 日	会議の内容
2月21日(月)	開 会 会期の決定 議案の上程・説明
2月22日(火)	議案調査日
2月23日(水)	議案調査日
2月24日(木)	総括質疑
2月25日(金)	総括質疑
2月28日(月)	議案調査日
3月1日(火)	常任委員会
3月2日(水)	常任委員会
3月3日(木)	常任委員会
3月4日(金)	常任委員会
3月7日(月)	議案調査日
3月8日(火)	議案調査日
3月9日(水)	本会議 一般質問
3月10日(木)	本会議 一般質問
3月11日(金)	本会議 一般質問
3月14日(月)	議案調査日
3月15日(火)	議案調査日
3月16日(水)	議案調査日
3月17日(木)	常任委員長報告 質疑・討論・採決 閉 会

## 志木市議会公式ホームページ

<http://www.city.shiki.lg.jp/> の  
上部グリーンのメニューバー「市議会」の中に  
「議会の会議録の検索・閲覧」(会議録検索システム)  
を開設しています。ご覧ください。



会議録は市役所1階市政情報コーナーや市内各図書館・公民館図書室でも閲覧できます。  
本号に掲載した定例会の会議録発行・会議録検索システムの更新は2月上旬の予定です。

発行年月日 / 平成23年2月1日

発行 / 志木市議会

〒353-0002 埼玉県志木市中宗岡 1-1-1

TEL 048-473-1111 FAX 048-471-7091

編集 / 議会だより編集委員会

香川 武文 山崎 東吉 高浦 康彦

磯野 晶子 池ノ内秀夫 鈴木 潔